



# 令和2年度12月補正予算の概要

<令和2年12月1日変更>

ひとりひとりの行動が  
福岡を救う。日本を救う。

福岡県





# 令和2年度12月補正予算のポイント

## 1 予算編成 の考え方

- 「新型コロナウイルス感染症対策」、「令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策」、「地域医療の充実等」に取り組むとともに、本県で初めて発生した高病原性鳥インフルエンザについて緊急対策を講じる
- 厳しい経済状況を踏まえ、県税等を減額するとともに、事業費の減額補正を実施
- 人事委員会勧告に基づく給与改定を実施

(単位:百万円)

## 2 補正予算 の規模

区分	当初予算 A	現計予算 B	12月補正予算						12月補正後 予算 D=B+E
			補正予算第7号				補正予算 第8号 D	合計 E=C+D	
			事業費	減額 補正等	給与費	計 C			
一般会計	1,851,724	2,220,712	13,026	△16,269	△1,017	△4,260	2,729	△1,531	2,219,181
特別会計	955,785	955,785	0	0	0	0	0	0	955,785
計	2,807,509	3,176,497	13,026	△16,269	△1,017	△4,260	2,729	△1,531	3,174,966

※補正予算第8号は早期議決を要するもの

(単位:百万円)

## 3 主な内容 (1) 歳出

項目	予算額	財源内訳			
		特定財源			一般財源
		国庫	県債	その他	
補正予算第7号	△4,260	6,058	689	212	△11,219
○事業費	13,026	6,217	689	221	5,899
1. 新型コロナウイルス感染症対策	10,629	5,038		△96	5,687
2. 令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策	1,705	943	689		73
3. 地域医療の充実等	692	236		317	139
○減額補正等	△16,269	△45		△9	△16,215
1. 税関連市町村交付金等	△9,384				△9,384
2. 持続化緊急支援金など事業費の減	△6,885	△45		△9	△6,831
○給与費	△1,017	△114			△903
補正予算第8号	2,729	197	0	0	2,532
1. 新型コロナウイルス感染症対策	2,003				2,003
2. 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策	726	197			529
合計	△1,531	6,255	689	212	△8,687

## 主な内容

### (2) 歳入(一般財源)

- 景気は持ち直しの動きがみられるものの、これまでの新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、大幅な減収となる県税等については、減額規模が過去最大と見込まれることから、早期に減額補正を行う。
- 県税等の減額に伴い、大幅な財源不足が発生するが、減収補填債・猶予特例債の発行、追加の事業見直しなど行った上で、不足する額については、財政調整基金等三基金の取崩しで対応する。

(単位:百万円)

項目	予算額
○県税	▲ 41,675
法人二税	▲ 16,488
地方消費税	▲ 18,589
その他	▲ 6,598
○地方消費税清算金	▲ 15,235
○特別法人事業譲与税	▲ 20,115
○減収補填債、猶予特例債	44,426
○地方交付税、地方特例交付金	8,028
○新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金	10,773
○財政調整基金等三基金繰入金	5,111
合計	▲ 8,687



# 新型コロナウイルス感染症対策

## 医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底

### ■ 医療提供体制の強化と感染防止対策の徹底

#### ○ 医療用物資を備蓄 4億8,020万1千円【新規】

- ・ 今後の感染拡大やクラスターの発生に備え、県においてマスク、医療用ガウン等の医療用物資を備蓄  
 ( 医療機関配布用：サージカルマスク 215万枚、医療用ガウン 25万枚、医療用手袋 1,150万双 等 )  
 ( 福祉施設等配布用：サージカルマスク 448万枚 )

#### ○ 医療従事者へ慰労金を支給 46億655万円 (6月補正:162億179万4千円)

- ・ 感染症患者と接する医療従事者等に対する慰労金を増額 (支給対象者数の増)



＜感染症患者に対応する  
医療従事者の様子＞

### ■ 情報提供の充実

#### ○ 防災情報の発信力を強化 2,830万3千円【新規】

- ・ 避難所の開設や混雑状況、大雨や洪水等の注意報・警報、河川や土砂等の危険情報等を県の防災ホームページにおいて分かりやすく発信

#### ○ 障がいのある方への合理的配慮の理解を促進 1,237万3千円【新規】

- ・ 「マスクにより口の動きが読み取れない」、「身体的距離を保つのが難しい」など、「新しい生活様式」の中で障がいのある方が困っていることや必要としている支援、配慮を周知する啓発動画、リーフレットを制作



# 「新しい生活様式」を踏まえた地域経済の活性化

## ■ 地域経済の活性化

○ 「福岡の避密の旅」観光キャンペーンを実施 10億84万3千円  
 (4月補正:3億2,200万2千円、6月補正:3億723万7千円)

- ・ 県内の宿泊施設を利用する際の宿泊代を割引
- ・ 県内の観光地等を訪問する際に利用するタクシー代を割引【新規】
- ・ 3密を避け、安全・安心に楽しめる「新しい旅のカたち」を提案するプロモーション動画を航空機内で放映【新規】



### 「福岡の避密の旅」観光キャンペーン

宿泊助成【予算増額】 1人1泊1/2以内 最大5,000円割引		タクシー助成【新規】 1回当たり1/2以内 最大3,000円割引		レンタカー助成【実施中】 1日1台当たり 最大3,000円割引	
販売場所	全国のコンビニエンスストア	販売場所	全国のコンビニエンスストア	利用方法	取扱レンタカー会社が車両返却時に利用条件を確認後キャッシュバック
額面	5,000円券(販売額 2,500円) 1,000円券(販売額 500円)	額面	500円券2枚セット(販売額 500円)	利用条件	県の宿泊助成やGoToトラベルを使い県内に宿泊 または 登録された観光施設等を2か所以上訪問
目標人数	10万人 → 25万人	利用条件	県の宿泊助成やGoToトラベルを使い県内に宿泊 または 登録された観光施設等を2か所以上訪問	目標台数	2万7,500台
福岡県在住者はGoToトラベルとの併用可		目標人数	5万人		

○ 地域商品券の発行規模を拡大 4億4,884万8千円  
 (4月補正:13億6,286万5千円、6月補正:5億2,066万4千円)

- ・ 「福岡の避密の旅」観光キャンペーンや国のGoToキャンペーンの実施を念頭に地域の消費を喚起するため、商工会議所・商工会や商店街が市町村と連携して実施するプレミアム付き地域商品券の追加発行を支援  
 (発行規模: 233億円→273億円、プレミアム率20%以上)

## ■ 事業継続の支援

### ○ 中小企業向け制度融資を充実 27億5,400万円（4月補正：36億7,700万円、6月補正：25億4,800万円）

- ・ 「新型コロナウイルス感染症対応資金」の融資枠の拡大に伴い利子補給費を増額  
〔融資上限額：4,000万円、融資利率：1.3%→0%、予算額：2億4,700万円〕
- ・ 「緊急経済対策資金」に係る来年度（R 3～7年度）以降の保証料の補填に必要な費用を基金に積立て【新規】  
〔融資上限額：1億円、保証料率：0.8%→0%（後年度負担分を基金に積立）、予算額：25億700万円〕

### ○ 中小企業の相談体制を強化 781万9千円（4月補正：2,008万9千円）

- ・ 経営や資金繰り等に関する電話相談窓口（コールセンター）の開設期間を年度末まで延長



### ○ 外国人技能実習生を受け入れる企業を支援 3億7,689万9千円【新規】

<外国人技能実習生の働く様子>

- ・ 入国時に14日間の待機が求められる技能実習生の宿泊費等を負担する受入企業を支援（2,500人分）

### ○ 介護施設における介護ロボット・ICT導入を支援 4億1,761万1千円（4月補正：2,400万円）

- ・ 介護サービス事業所が行う介護ロボットの導入やICTによる業務改善を支援



<介護ロボットのイメージ>





# 令和2年7月豪雨災害復旧・復興対策

## ○ がけ崩れが発生した箇所の再発防止対策を推進 15億5,547万円

- ・ 市が実施する斜面对策工事を支援

〔 箇所数：29箇所  
負担割合：国1/2、県4/10、市1/10 〕

(施工前)



(施工後)



<斜面对策工事の例>

## ○ 被災した高齢者福祉施設の復旧を支援 1億4,913万2千円

- ・ 社会福祉法人等が実施する被災した施設の復旧工事を支援

〔 施設数：9施設  
負担割合：国2/3、県1/6、法人等1/6 〕



<被災した高齢者福祉施設>



# 地域医療の充実等

## ○ 病院勤務医の働き方改革を推進 3億1,730万6千円【新規】

- ・ 地域での医療提供体制を確保しつつ、医師の労働時間短縮を進めるため、医療機関が実施する短時間勤務要員の確保やICTによる業務改善等を支援（医師に対する時間外労働の上限規制の適用開始：2024年4月）

## ○ 聴覚障がいの早期発見を支援 5,040万円【新規】

- ・ 新生児が精度の高い聴覚スクリーニング検査を受検できるよう、小規模産科医療機関における自動ABR（自動聴性脳幹反応）機器の導入を支援

## ○ 保健環境研究所の建替えに向けた調査を実施 742万3千円【新規】

- ・ 老朽化が進む県保健環境研究所の建替えに向け、必要となる研究施設、セキュリティ対策等に関する調査を実施



<県保健環境研究所>

## ○ 東京2020オリンピック聖火リレーを実施 [債務負担行為 3億6,779万2千円]

- ・ 来年度に延期された聖火リレーの実施準備に着手  
〔本県での聖火リレー：2021年5月11・12日に、20市町村で実施〕



<オリンピックトーチ>





## 新型コロナウイルス感染症対策

- 高齢者施設等に勤務する方にPCR検査を実施 20億340万円【新規】
  - ・ 重症化リスクの高い高齢者、障がい者への感染やクラスターの発生を防ぐため、高齢者施設及び障がい者施設の職員に対するPCR検査を実施（対象者：保健所設置市を除く県内の高齢者施設及び障がい者施設の職員）



## 高病原性鳥インフルエンザ緊急対策

### ■ 今回の発生に係る防疫措置の実施と経営の支援

- 養鶏場の防疫措置を実施、経営を支援 3億1,229万8千円【新規】
  - ・ 被害が発生した養鶏場における肉用鶏の殺処分及び埋却、発生地の消毒を実施
  - ・ 制限区域内の養鶏農家に対し手当金を支給
  - ・ 制限区域内の養鶏農家の運転資金借入れに対する利子補給〔債務負担行為 462万円〕

### ■ 今後の防疫体制の強化

- 感染予防対策を強化 1億5,987万4千円【新規】
  - ・ 県内全養鶏場の緊急消毒を実施（151戸）
  - ・ 養鶏農家が実施する防鳥用ネット、侵入防止柵等の整備を支援
- 備蓄体制を強化 2億5,379万8千円【新規】
  - ・ 今後の発生に備え、防護服、ゴーグル等の資機材を追加備蓄



<防疫作業の様子>

## 減額補正

### 事業費等の減額補正を実施 $\Delta 162$ 億6千9百万円

○ **税込減に伴う税関連市町村交付金等の減**  $\Delta 93$ 億8千4百万円

- (主な内容)
- ・ 地方消費税市町村交付金  $\Delta 50$ 億8,397万円
  - ・ 地方消費税清算金(歳出)  $\Delta 33$ 億9,202万円

○ **持続化緊急支援金の交付額確定による減**  $\Delta 58$ 億6千9百万円

(新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金充当)

○ **その他事業費の削減**  $\Delta 10$ 億1千6百万円

- (主な内容)
- ・ 北九州空港における旅客便運休に伴う就航助成金の減  $\Delta 9,110$ 万円
  - ・ 国民体育大会、全国障害者スポーツ大会の延期  $\Delta 8,897$ 万円
  - ・ アジアラグビー交流フェスタの延期  $\Delta 1,835$ 万円

## 給与費

### 人事委員会勧告に基づく給与改定を実施 $\Delta 10$ 億1千7百万円

- ・ 期末・勤勉手当0.05月分引き下げ (支給月数 年4.5月分 → 年4.45月分)  
※期末手当を引き下げ